

すべての人に優しい

まちづくりをめざして

鳥取市交通バリアフリー基本構想づくりを進めています



障害のある人と一緒に街を歩くと、改善の必要な箇所が多いことがよくわかります

鳥取市は、鳥取駅と鳥取バスターミナルを中心とする歩行で移動可能な範囲を重点整備地区とし、バリアフリー化のモデルとする「鳥取市交通バリアフリー基本構想」の策定を進めています。策定委員会では、高齢者・障害者・公募委員などのみなさんから多くの提言をいただきながら議論を重ね、このたび、その構想（案）をまとめました。概要は次のとおりです。「ご意見をお寄せください。」

基本的な方針

● 昨今、高齢者や身体に障害のある人々が健常者と同様に安心して自由な市民生活をおくることができる「まちづくり」が強く求められており、鳥取市でも第七次総合計画の中でバリアフリーの推進を重要施策としています。この

● ことを踏まえ、「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律（交通バリアフリー法）」に基づき、県内市町村では初めて交通バリアフリー基本構想を策定します。今後、この構想に基づき鳥取駅周辺のバリアフリー化を進めていくこととなります。

重点整備地区の位置・範囲

位置

● 鳥取駅および鳥取バスターミナルを中心とする地区とします。

● 範囲（5頁上図参照）

● 市民が広く利用する公共公益施設、医療機関などが集まる県庁（駅北側一・五キロ）からさわやか会館（障害者福祉センター/駅南側〇・五キロ）を範囲とします。

鳥取市の基本構想（案）の特徴

● 市民みんなの意見を反映する策定プロセス

● 高齢者・障害者団体からの聴き取り調査や、構想策定委員の約半数に高齢者・障害者、公募委員を登用することなどにより、利用者代表の意見を積極的に反映します。

● 今回の市民政策コメントで寄せられた意見を反映させます。

● 鳥取の雨・雪に対応したバ